



そよかせ



瀬戸大橋

CONTENTS

院内認定専門領域看護師の紹介	2・3
新採用者の紹介	3
医療安全の取り組みについて	4
看護の日を終えて	5
外来心臓リハビリテーションのご紹介	6
肺機能装置が新しくなりました	7
医療連携・患者支援センターをご活用ください	8
つくし園 春行事	9
無理なくこまめに水分補給 栄養管理室	10・11
外来診療担当医師一覧表	12

病院の理念

私たちは
「ゆるぎない信頼、心からの満足」
をしていただける病院を目指します。

人としての尊厳を重視した上で
専門医療（国の定める政策医療）に誇りを持ち、
地域の皆様が安心して心身ともに癒される医療を
受けていただけるよう、全力を尽くします。

院内認定専門領域看護師のご紹介

(重心看護)



1階病棟看護師 舟木 由美子

私は昨年度「重症心身障害児（者）の看護」に関する院内認定専門領域看護師研修を受講しました。専門分野に関する研修での学びはたくさんありましたが、中でも拘縮のある患者さんへの適切なポジショニングを病棟での看護に活かしていきたいと思いました。現在勤務している神経筋難病病棟の患者さんは自力での体動がしだいに難しくなり、体に拘縮をきたしている方が多く、様々な皮膚障害を合併する可能性があります。患者さんにとってより良いポジショニングをチームみんなで提供することで少しでも患者さんに苦痛のない療養生活を送ってもらえるように病棟で中心になって取り組み、より良いポジショニングの提供で皮膚障害を減らしていきたいと思っています。



2階西病棟看護師 吉田 裕子

私は昨年院内認定専門領域看護師研修【重症心身障害児者】を受講し、重症心身障害児者のライフサイクルと身体的問題点・在宅支援体制・てんかんの薬物療法、発作時の症状観察内容・排痰を促し、リラクゼーションにつながるポジショニング・療育活動等について学びました。

現在、神経・筋病棟に勤務していますが、変形・拘縮のある患者さんも多いため、今回の研修で学んだことを活かし、褥瘡発生しないためのポジショニングをスタッフ間で話し合い、褥瘡発生予防につなげていきたいと考えています。

また、患者さん、家族の支援ができるよう、多職種と情報共有しながら、スタッフの知識・技術の向上に励んでいきたいと考えています。



つくし2病棟看護師 池上 佳子

当院の重症心身障害児（者）病棟が開所され約50年が経ちます。当初に比べ患者さんの高齢化も進み、重症化リスクは高くなっています。また、医療の進歩に伴い患者さんは気管切開や胃瘻造設、人工呼吸器装着等の医療的ケアを必要とする方も増えてきています。

今回、当院で初めて重症心身障害児（者）の院内認定専門領域看護師制度を立ち上げるということを知り受講しました。研修の中で、専門性の高い医療ケアを学び、得た知識を病棟内の勉強会や実践を通して、スタッフに提供していきたいと考えています。そして、当院では重心病棟だけでなく一般病棟や通所支援サービス『つくし園』を利用している重症心身障害児（者）の方もいます。そのような患者様とその御家族のためにも、重心看護の専門性を院内全体でスキルアップさせ、安心して心地よい日常生活が送れるよう、多職種のスタッフと共に日々支援をしていきたいと思っています。



つくし2病棟看護師 井並 優芽

私は以前ショートステイの利用患者を受け入れる病棟に所属していました。その中で、日頃の様子が分からず判断に困って家族へ連絡することが何度かありました。重症心身障害児（者）は自身で苦痛を訴えたり、どのように対応してほしいのかを自分で伝えることができません。受け入れる際に日頃の様子と共に、頻脈になる原因やその時の対応方法のポイントなどを聞いておくことが必要だと、以前から感じていました。また、重症心身障害児（者）の家族が在宅で実施されている細やかなケアを知り、日々の看護へ反映させたいという思いがありました。そんな時に、令和4年11月に重症心身障害児（者）看護の院内認定専門領域看護師の研修の案内があり、多職種からの講義を受けることで、各分野からの重症心身障害児（者）との関わり方を知ることができる良い機会だと思い、受講しました。

研修で重症心身障害児（者）のケアは個別性が強く、専門性の高い看護が必要であり、個々の特性がわかりにくいことを改めて学びました。また、在宅医療を受ける重症心身障害児（者）が増えているとともに医療的ケアが必要な患者も増えていることも学びました。

今後は研修で学んだ知識を活かして、在宅の時とできる限り同じ療養生活を送ることができるよう、患者個々の特性に合わせた看護を提供したいと考え、取り組んでいます。

新採用者の紹介



1階病棟看護師 砂田 安澄

令和5年4月より、1階病棟で勤務することになりました。不安と緊張でいっぱいの毎日ですが、先輩方に支えられながら日々1歩ずつ前に進んでいるところです。私は看護学生時代の実習で神経筋疾患の患者さんを担当させていただいたことがきっかけで、神経筋疾患病棟で看護師としてスタートをきりたいと考え当院に就職しました。患者さんが病院での療養中にその人らしさを大切にできるよう看護していきたいと考えています。そのために正しい知識、技術を身につけ、患者さんに誠実に接し、患者さんが安心して過ごせるように頑張ります。よろしく願いいたします。



つくし2病棟看護師 森島 夕葉

令和5年4月より、つくし2病棟で勤務する事になりました。

初めは、意思の疎通が図れない患者さんとの関わり方に戸惑うこともありましたが、入職して2ヶ月経ち、患者さんの表情や動きから少しずつ小さな変化に気づくことができるようになりました。例えば、患者さんが訴えたいことがある時には、険しい表情になったり、身体の調子が良い時には、笑顔を見せてくれています。看護師は患者さんといちばん長く関わるができるため、常に患者さんの立場になって考え個別性のある看護を実践し、患者さんが安心して療養していただける環境を提供していきたいです。先輩看護師にご指導を頂きながら安全な看護を実践できるよう頑張っていきたいです。よろしく願いいたします。



医療安全の取り組みについて

医療安全管理係長
大島 美貴

今回、医療安全管理室での取り組みのご紹介をいたします。医療安全管理室では医療安全管理委員会の方針に基づき、組織横断的に院内の医療安全管理を担い、推進しています。医療安全管理室長は坂井研一臨床研究部長、副室長に私、医療安全管理係長、そして各部署のセーフティマネージャーの医療安全推進担当者により構成されています。

主な活動は、医療安全管理に関する日常活動、特にインシデント発生時の情報収集及び実態調査。その事例を週1回の医療安全カンファレンスで共有・検討しています。また定期的な現場の巡回、点検、マニュアル遵守状況の点検。医療安全に関する職員への啓発としては、年2回の全職員対象の医療安全管理研修を実施。他に、放射線技師や薬剤師による研修会、新採用者・配置換え職員対象の研修会等、このほか年間計画研修以外にも、必要時には医療安全ニュースで広報活動や研修会を行っています。また、セーフティマネージャー会議は月1回、小グループ単位で活動を行い、令和5年度は「転倒転落防止」「骨折予防」「医療機器管理」「誤認防止」「研修・川柳(転倒転落防止川柳)」のグループで活動しています。

ここで、川柳ですが、当院ではご高齢の患者様や心身障害のある患者様のご入院が多く、転倒によるインシデントは年々減少しているものの、ゼロにはなっていません。



職員研修医療安全管理研修

そこで、医療安全管理室では令和元年度から毎年転倒転落予防の「川柳」を病院職員から募集し、院内、病棟廊下、トイレ、外来の廊下等に掲示しています。

職員をはじめ、外来にお越しの患者様や御家族、ご入院中の患者様にも掲示してある川柳を見ていただくことで、転倒転落の予防意識を高めていただこうと計画し、取り組んでおります。また、職員から募集した川柳は、選りすぐりの句の中から投票で、最優秀賞と優秀賞を決め、病院内で表彰も行い、職員も危険な転倒転落に対しての意識づけを高め、非常に関心も高まっています。

昨年、令和4年度の代表作をご紹介します。

昨年度は、職員から転倒転落予防につながる思いの詰まった86句の応募がありました。この中から、職員に「グッと心をつかんだ上位3句」を選んで表彰し、病院内に掲示しています。医療安全管理室では今後も引き続き、転倒転落予防の川柳を通して職員・患者様の転倒転落予防の意識の向上に繋げていこうと考えております。



放射線科CT検査、磁場体験



新採用者・異動者医療安全研修



新採用者の人工呼吸器管理研修



セーフティマネージャー会議中



令和3年度4年度の川柳の一例

12月中旬
投稿川柳を一挙公開
職員投票で
大賞川柳が決まる!



この秋も転倒転落予防川柳を募集します
皆さまの川柳で転倒転落を予防しましょ

看護の日を終えて

教育担当看護師長
難波 美香



南岡山医療センター看護部は、5月8日～12日を『看護の日』の週間とし、各病棟ではシャボンラッピング法を用いたフットケアやふれあい体操を企画し実施しました。

患者さんの気持ちよさそうな表情や楽しそうな笑顔に、私たちも癒される時間となりました。

フローレンスナイチンゲール生誕の5月12日は、看護や健康に対する国民の意識の向上と、健康やケアへの関心を向上させるなどの目的で【看護の日】として制定されています。その5月12日には、外来・入院患者さん、地域の方に【看護の心を届けるイベント】として、当院の花明かりホールで『ピアノ・バイオリンコンサート』を開催しました。演奏者は限られた時間の中ではありましたが、一生懸命練習し「春よ、来い」や「情熱大陸」他、計4曲を演奏しました。地域の方や沢山の患者さんに聴いていただき、患者さんのあふれる笑顔や喜びの声、日頃の白衣とは違う姿に驚きの表情、そして大きな拍手と声援に思わず感動で涙する場面もありました。

短い時間ではありましたが、会場が一体となり、心温まるコンサートとなりました。これからも患者さん一人一人に寄り添い、看護部が一丸となりより良い看護の実践ができるよう努めていきます。



当院の名司会Ns



バイオリニストNs

ピアニストNs

演奏会風景



心が癒される



うっとり…

沢山の患者さんが職員と共に演奏を楽しみました ♥

外来心臓リハビリテーションのご紹介

当院の外来心臓リハビリテーションが開設され5年目となりました。
リハビリの流れと運動の種類を決定する指標の歩行テストを紹介します。

当院のリハビリの流れ

問診
10分

準備体操
5分

体操
20分

有酸素運動
20分

整理体操
5分

TUG (ティュージャー : Timed up & go test) の紹介

高齢者の運動機能評価のひとつで、歩行能力や動的バランス、敏捷性などを総合的に判断します。
転倒リスクの評価ができるため、当院ではリハビリの運動の種類を決める際にも使います。

テストの方法

- ①椅子にゆったりと腰かけた状態から立ち上がり、心地よい速さで歩きます。
 - ②3m先の目印で折り返します。
 - ③スタート地点に戻って椅子に深く座ります。
- ①～③の所要時間を測定します。



わかること

所要時間から転倒リスクの評価ができます。

(参考) 13.5秒以上=転倒リスク有 30秒以上=日常生活動作に介助を要す
立ち上がる・座る能力、直線を歩く能力、方向転換の能力などが判定できます

さいごに

テストの結果を参考に、ご自身にあった運動方法をご提案します。
安全で効果的な心臓リハビリテーションを提供できるよう
職員一同でがんばっています。



私たちが、
外来心臓リハビリを
担当させていただいています。
皆様の参加を
お待ちしております!!



【外来心臓リハビリチーム】
理学療法士5名
作業療法士2名
(うち、心不全療養指導士3名、
心臓リハビリテーション指導士2名)

生理検査室の 紹介

肺機能装置が新しくなりました!



臨床検査科 臨床検査技師
小坂 弓恵

昨年12月に肺機能検査装置が新しくなりました。

測定可能項目には肺活量(VC)・努力性肺活量(FVC)・呼吸抵抗(FOT)・呼気一酸化窒素濃度(FeNO)・肺拡散能(DLco)・機能的残気量(FRC)・クロージングボリューム(CV)・気道可逆性検査があります。

新しい装置には以前になかった機能が追加されたのでご紹介します。

★ポケモンアニメーション表示ができるようになりました。



目標の肺活量に達すると
ピカチュウGETだぜ!

※ポケモンアニメを使ったスパイロメトリー検査は、当センター以外の施設でも実施していることがあります。

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo.

★多言語対応機能を備えています。

日本語・英語・中国語(北京語)・韓国語・
スペイン語・ロシア語の6言語に対応した
測定方法の音声説明機能を備えています。



★感染対策のため検査はすべて陰圧テント内で行えます。



肺機能検査は苦しい検査ですが、少しでも楽しく、
分かりやすく検査できるようにスタッフ一同、心が
けています!

職 場 紹 介

～医療連携・患者支援センターをご活用ください!～

「医療連携・患者支援センター」は、患者さんが住み慣れた地域の中で適切な医療や介護が切れ目なく受けられるような支援をする事を目的に、「医療連携室」「病診連携室」「患者支援室」を設置しています。

医療連携室 では、医療ソーシャルワーカー、退院支援看護師で、患者さんが当院で治療を受けて、社会復帰をしていく中でおこる様々な生活の課題（医療面だけでなく、生活の場所、介護、社会的、心理的、経済的など）に対して支援をしていきます。

病診連携室 では、医療ソーシャルワーカー、医療連携患者支援コーディネーター、事務助手で、当院への受診や入院する際の予約や受け入れ調整、他機関との紹介・逆紹介に関する連携調整、地域の社会資源の把握、他機関への訪問活動・医療連携に関する会への参加などを行い、病院の紹介窓口として支援していきます。

患者支援室 では、看護師と医療ソーシャルワーカーが、当院の患者・ご家族からのご相談やご意見を伺い、安心して診療を受けていただく為に、相談担当者を配置して対応しています。

また「患者さんの声」をいただき、病院として、より良い環境にしていく為に、ご意見箱「虹色ポスト」を外来等に設置しています。いただいた貴重なご意見は、担当者が定期的に検討し、患者サービス向上に取り組んでいます。

医療連携室業務

- ◎医療福祉相談支援
- ◎退院・転院調整
- ◎転院・在宅・逆紹介先の情報提供
- ◎療養介護利用対応
- ◎医療連携に関する会への参加
- ◎研修会の企画・運営
- ◎スピーカーズバンク（講師派遣の調整窓口）



病診連携室業務

- ◎紹介患者専用の受付窓口
- ◎患者情報の問い合わせ窓口（電話対応等）
- ◎紹介患者の事前予約（外来予約・入院予約・検査予約）
- ◎患者情報の報告（来院・入院・退院）
- ◎診療情報提供書（紹介状・返書）の管理及び作成依頼
- ◎紹介履歴のデータ入力・管理
- ◎セカンドオピニオンの窓口
- ◎ボランティアの窓口



患者支援室業務

- ◎医療相談、投書、退院時アンケート等の個別案件への対応
- ◎退院時アンケート、投書等を集計整理し、その結果を解析し改善点を抽出し提案。
- ◎NHO本部調査の満足度調査を事務部門と共に行い、その結果を解析し、改善点を抽出し提案
- ◎インフォームドコンセント、アドバンス・ケア・プランニングなどの充実による患者支援の推進

患者さんの受診や入院については
『病診連携室』にお問い合わせください
TEL：086-482-3031



つくし病棟

春行事

療育指導室 保育士 仁田 礼香 三宅 倫江

つくし病棟院内行事「春行事」を4月中旬から5月下旬までの期間をかけて行いました。

つくし1病棟、つくし2病棟ともに「戸外を散歩しよう!」という事で戸外での活動を計画しました。当日、あいにくの雨の日や自室での活動になった方もおられましたが、日を改め戸外に出かけたり戸外に行った気分を味わって頂きました。今年度は短時間ではありましたが、3年ぶりにご家族にも行事へ参加して頂き、一緒に散歩へ出掛けることが出来ました。

ご家族の声を聞いて視線を向けたり、自然に触れる中で親子で見つめ合ったり、楽しそうな笑顔や声がたくさん見聞きできてよかったです。

つくし1病棟は、春の自然を探し、草花に触れながら散歩を楽しみました。行事がスタートした頃と中盤、終盤では目にする草花も日々変わり、いろいろな草花を見つけることができました。途中、ご家族も一緒に自然に関する〇×クイズをすると大いに盛り上がり、笑い声が戸外中に響いていました。

つくし2病棟では、散歩の合間にしゃぼん玉やパラシュートを楽しみました。自分でしゃぼん玉を作ろうと手を動かしたり、飛んで行くしゃぼん玉を目で追ったり、手を伸ばし触ろうとする方もおられました。また、光に反射するパラシュートを見たり頬にあたる風に気持ちよさそうな表情を見せて下さいました。



ご家族からは『久しぶりに一緒に散歩が出来て良かった!!』『元気そうな顔が見れてよかったです!!』などの声が聞かれ、どちらの病棟のご家族も久しぶりの行事参加を大変喜ばれ、とてもうれしく思いました。

新型コロナウイルス感染症状況も少しずつではありますが落ち着きを取り戻し、今後も感染対策をしっかりとしながら親子で楽しめる活動を増やしていければと思っています。

次は夏行事です!ドキドキ・ワクワクするような内容を計画してさらにみなさんの笑顔がたくさんみられるようにと思っています。





無理なくこまめに水分補給

栄養管理室 管理栄養士 紙森 真実

今回はこれからの季節、とっても注意してほしい「水分補給」についてお話しします。

水は成人の体内の55～60%を占め、体温調節や栄養素を全身に運ぶといった重要な役割を担っています。

水分が不足すると脱水症状や熱中症、さらには脳梗塞や心筋梗塞を引き起こす恐れがあります。

そこで今回は1日に必要な水分量や適切に水分を補給する方法についてご紹介します。

毎日欠かさず水分を摂取しているけれど、必要な水分量を摂取できているか分からないという方は多いのではないのでしょうか。

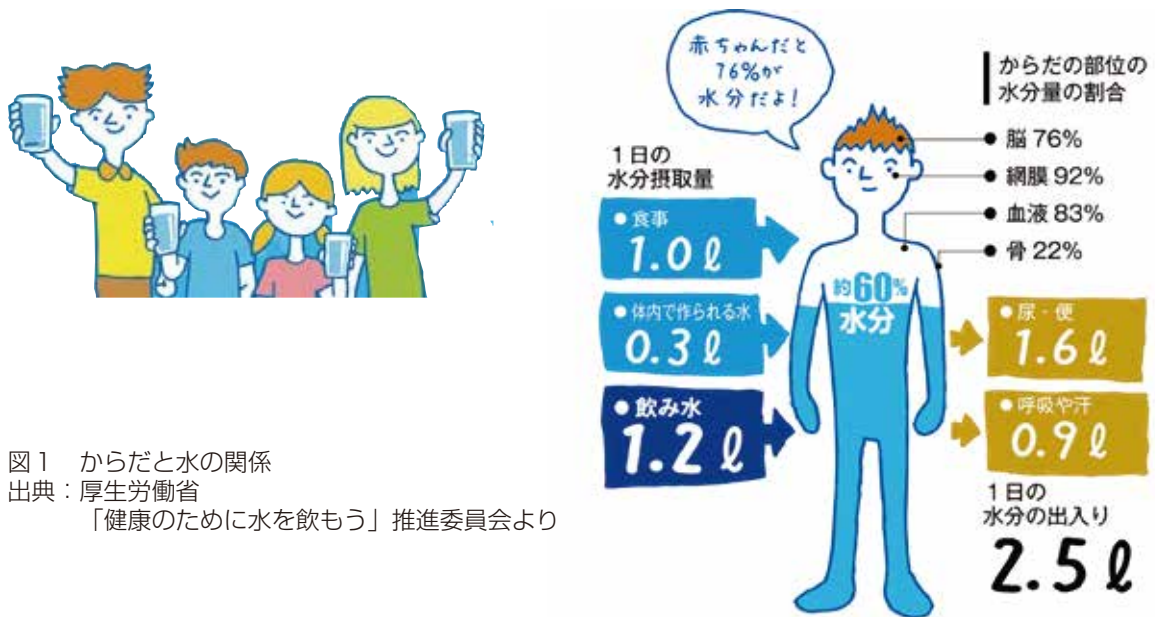


図1 からだと水の関係
出典：厚生労働省
「健康のために水を飲もう」推進委員会より

人間が生きていくために必要な水分量は1日約2.5Lといわれています。

尿や便から1.6L、呼吸や汗から0.9Lと計2.5Lもの水分が体から毎日出ていくため、失われた水分と同じくらいの水分量を補う必要があります。

1日2.5Lの水分を補給しなければいけないと聞くとかなりの量に感じる方もいるかもしれませんが、2.5L全てを飲み物から摂取する必要はありません。

体では代謝によって0.3Lの水分が作られる他、3食しっかり食事を摂取できていれば食べ物からも1.0Lもの水分を摂取できます。そのため飲み物からは1.2Lほど摂取すれば良いです。この水分量はあくまで目安です。水分制限を指導されている場合は、主治医に相談してください。



図2 水分補給のタイミング
 出典：健康と料理社発行 「素早く見つけて、すぐ対策！脱水症状」より

水分補給のコツは「のどが渴く前」に「こまめ」にです。一度に沢山飲んでも尿になって排泄されてしまい、蓄えられないからです。

図1で示したように飲み物からは1日当たり1.2Lを摂取することが望ましいとされています。コップ1杯を0.2L(200ml)とすると6杯分以上になるので多く感じるかもしれませんが、図2のように水を飲むタイミングを習慣づけると続けやすいでしょう。

今年の夏を元気に乗り切るために、こまめな水分補給を意識してみましょう。

COOKING RECIPE

今回は、夏にピッタリな火を使わずに電子レンジで手軽に調理できる料理を紹介します。梅風味の甘酢でさっぱりと食べることができます。

たいのレンジ蒸し トマト甘酢がけ



材料(2人分)

- たい…2切れ(160g)
- 塩…小さじ1/5
- こしょう…少々
- 酒…小さじ2
- トマト…1個(200g)
- みょうが…2個(40g)
- 青じそ…3枚
- A
 - 梅干し(塩分8%)…1個(12g)
 - 酢…大さじ11/2
 - 砂糖…大さじ1/2
 - 塩…小さじ1/5

作り方

- ① たいを耐熱皿にのせて塩、こしょうをふり、酒をかける。ふんわりとラップをかけて電子レンジ(600W)で3~4分加熱し、器に盛る。
- ② トマトは1.5cm角、みょうがは小口切り、青じそは千切りにする。
- ③ ボールにAを合わせ、トマト、みょうがを加えて混ぜる。①に③をかけ、青じそをのせる。

栄養成分(1人前)

エネルギー166kcal、たんぱく質17.5g、塩分1.6g



外来診療担当医師一覧表

休診日：土・日・祝日

年末年始(12/29～1/3)


但し、急患の方はこの限りではありません。

受付時間 8:30～11:30 (予約外の方)
8:30～予約時間 (予約の方)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	
一般内科	初診・再診	8:45～12:00	木村 五郎	藤原 努	石賀 充典	藤井 誠	下西 惇
	再診		-	-	藤原 努	-	-
循環器内科 (生活習慣病外来)	初診・再診	8:45～12:00	富田 純子	-	-	富田 純子	富田 純子
呼吸器内科	初診・再診	8:45～12:00	谷本 安	谷本 安	-	谷本 安	木村 五郎
			藤井 誠	木村 五郎	-	下西 惇	藤井 誠
			石賀 充典	石賀 充典	板野 純子	-	-
			板野 純子	板野 純子	-	-	-
	再診	13:30～17:00	-	-	河田 典子	-	河田 典子
脳神経内科	初診・再診	8:45～12:00	田邊 康之	坂井 研一 (もの忘れ)	麓 直浩	原口 俊	逸見 祥司
	再診		-	-	-	-	井原 雄悦
再診	-	-	田邊 康之	-	坂井 研一	-	
消化器内科	初診・再診	8:45～12:00	-	-	平野 淳	平野 淳	-
皮膚科	初診・再診	8:45～12:00	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高
	再診	第1・3月曜 15:30～16:30	藤原 愉高 (受付16:15まで)	-	-	-	-
		第2・4・5月曜 15:30～17:00	藤原 愉高 (受付16:30まで)	-	-	-	-
再診(予約)	16:00～17:00	-	-	-	藤原 愉高	-	
耳鼻咽喉科	初診・再診	8:45～12:00	-	-	-	-	村井 綾
整形外科	初診・再診	8:45～12:00	藤田 寧子	藤田 寧子	-	藤田 寧子	藤田 寧子 (再診予約のみ)
リハビリテーション科 (摂食嚥下専門)	初診・再診	13:00～14:00	-	谷本 安 (予約のみ)	-	-	-
小児科	初診・再診	8:45～12:00	遠藤 文香	産賀 温恵	井上 美智子	吉永 治美	水内 秀次
小児神経科	初診(予約) 再診	8:45～12:00	吉永 治美	吉永 治美	-	井上 美智子	遠藤 文香
		13:30～15:30	-	吉永 治美	遠藤 文香 (14:00～)	吉永 治美	-
		15:30～17:00	井上 美智子 (2・4・5週)	-	遠藤 文香 (～16:00)	井上 美智子	遠藤 文香
アレルギー 外来	初診(内科)	10:00～11:00	-	-	谷本 安	-	-
	再診(皮膚科)	8:45～12:00	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高	藤原 愉高
	初診(予約)・再診 (内科)	14:00～16:00	谷本 安・木村 五郎	-	-	-	-
	初診(予約)(小児科)	14:30～15:30	水内 秀次	-	-	水内 秀次	-
	再診(小児科)	15:30～17:00		-	-	水内 秀次	水内 秀次
再診(皮膚科)	15:30～17:00	藤原 愉高	-	-	藤原 愉高 (16:00～)	-	
喘息外来	再診	14:00～16:00	-	-	-	谷本 安	
呼吸不全専門 外来	初診・再診	10:00～11:00	-	-	-	河田 典子	
		13:30～15:00	-	-	-	-	
睡眠時無呼吸 外来	初診	9:30～10:00	-	石賀 充典	-	-	
再診	11:00～12:00	-	-	-	-	谷本 安	
禁煙外来	初診・再診	13:30～16:00	-	-	-	藤井 誠	
間質性肺炎外来	初診	10:00～11:00	-	-	-	谷本 安・板野 純子	
小児肥満外来	再診	8:45～12:00	水内 秀次 (～11:00)	-	-	-	水内 秀次
	初診(予約)	14:30～15:30	水内 秀次	-	-	水内 秀次	-
	再診	15:30～17:00		-	-	水内 秀次	水内 秀次
歯科	初診・再診	8:45～12:00	小野 瀬里奈	山路 公造	-	大原 直子	小野 瀬里奈
	再診	13:30～17:00		-	-	大原 直子	小野 瀬里奈
乳幼児健診種 予防接種	乳幼児健診	14:30～15:00	-	-	担当医	-	-
	予防接種	15:00～15:30	-	-	担当医	-	-

紹介状をお持ちの方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。
(予約無しで当日に紹介状をご持参される場合、お待ちいただくことがあります)
初診(予約)を受診の方は、事前に **病診連携室** で予約を行ってください。

病診連携室
086-482-3031



**独立行政法人国立病院機構
南岡山医療センター**

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島4066
電話 (086) 482-1121 (代表)
FAX (086) 482-3883
病診連携室 FAX (086) 482-3051
休日・時間外に FAX を送られる場合は事前に
代表電話へご連絡ください。
<https://minamiokayama.hosp.go.jp/>

